



## 2学期、スタート！



児童達の元気な声が校舎に戻ってきました。今年は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の無い夏休みでしたが、皆様におかれましては、いかがお過ごしだったでしょうか。

さて、児童の学習や交友の成長に、大きな実りを期待する2学期がスタートしました。それに当たり、学校において、1学期に引き続いての新型コロナウイルス感染症の拡大防止、熱中症予防、そして、台風等の自然災害等への危機管理が欠かせないと考えています。コロナ禍3年目の経験に倣い、感染対策、及び熱中症対策を万全に行う中で、児童に自信や主体性を育む教育をしていきたいと思っています。

そのために、今学期も教職員で気持ちを揃え、ワンチームとなり、児童達の教育にあたって参ります。何卒、引き続きましての本校教育へのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

さて、最近、出会った『私はヘアゴム』という素敵な児童詩を紹介した後、それを受け、2学期、皆に期待することを述べます。

私はヘアゴム 私はかみの毛たちのリーダー いわゆる まとめ役  
ブラシと協力しながら 大きなリボンを背負って 大きな頭の上を歩いて  
今日もかみの毛たちを まとめるんだ



### 『安心できる環境をつくる』 ～ 2学期、皆に期待すること ～

2学期は、運動会や校外学習など、学年で、学級で、すなわちチームで取り組む行事がいくつかあります。

そこで皆さんには、大切な心の持ち方として、『その人の心が、環境を決める。』という言葉を知ってほしいと思います。例えば、行事に向かう時には、皆の心を一つにし、達成感を得ることが行事の成功、つまり個人や集団の成長につながります。しかし、もし他人の話に耳を傾けない人がいたり、大きな声にものを言わせて自分の意見を押し通したりする人が一人でもいたらどうでしょう。周りの空気が重くなってしまいます。これは、明らかに全体にとってマイナスです。だからみなさんには、①一人一人の違いを認める ②他者に優しさのある ③学習・生活にけじめのある空気感を作してほしいと思います。加えて、④目上の人を尊敬する、⑤正直で誠実さのある、⑥いじめや差別を許さないなどの空気感も大切です。

そこで皆さんには、環境に左右されるのではなく、環境をつくる人でいてほしいと思います。安岡正篤という先生（先人）が言っています。『環境が人を作ることにとらわれてしまえば、人は単なる物、単なる機械になってしまう。人は環境を作るからにして、そこに人間の人間たる所以がある。自由がある。即ち、主体性、創造性がある。だから人物が偉大であればあるほど、立派な環境を作る。人間ができないと環境に支配される。』と……このような思いから、皆さんには、この2学期、「誰もが安心して生きていける、そんな空気が満ち溢れる、学年、学級、仲間[チーム]⇔【総じて社会】を形成して行って欲しいです。先生たち、大人も同じです。皆で共に励み、安心のある学校を、自分が主人公＝「ヘアゴム」になり、作っていきましょう。

### ◆お願い & お知らせ（ご家庭における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について）

夏休み明けに当たり、引き続き、学校内外での感染状況に注視していかねばと強く感じています。つきましては、保護者の皆さまには、今まで通り、毎朝の検温や正しいマスクの着用、手洗いの徹底。本人や同居家族がPCR検査を受けることになった場合は、登校させないことなどの対策への協力を、改めてお願いいたします。※濃厚接触者の自宅待機期間が変更されたことにもご注意ください。

